

第2回ジオパーク下仁田協議会学術部会 顛末

日時 平成28年 7月20日(木) 午後4時30分～

場所 下仁田町役場 202会議室

所 属	氏名	出・欠		所 属	氏名	出・欠
群馬県立自然史博物館	高桑 祐司	出		日本ジオパーク下仁田応援団	里見 哲夫	欠
下仁田自然学校	真野 勝友	出		中小坂鉄山研究会	原田 喬	出
群馬県立自然史博物館	菅原 久誠	出		農林大学校	渡辺 悟	出
下仁田町歴史館	横田 孝三	出		群馬大学名誉教授	吉川 和男	出
下仁田町自然史館	鈴木 英男	出		下仁田町自然史館	関谷 友彦	出
地域おこし協力隊	片山 美雪	出				

1 開 会

2 協議事項

(1) 関東大会の分科会の内容と運営について（関東ストーリーについて）

- ・別紙のとおり昨年の関東大会である程度素材が出揃っているため、それを整理し年表を予め作成。
→次回までに昨年の銚子大会での年表の整理は事務局が担当する。
- ・今回の大会では、その年表を参考に「下仁田」を基点とし、テーマ毎の各ジオパーク周遊モデルコースを参加者で考えてみる。
- ・参加者層には特に制限を設けない（観光事業者、ガイド、事務局誰でも参加可能）

(2) 科学的裏づけの現状について

- ・別紙のリストを提示し、リスト内にあるジオサイトについて、部会内で情報を集約し完成させる
- ・リストにトイレや駐車場（駐車台数）情報を加える。
- ・文献はレベルに関係なく載せたほうが良い。

→以上を踏まえて、事務局から部員にリストを送付し、リストの穴埋め作業を各自すすめていくことになりました。

(3) その他

1) 鶏冠石調査について

- ・群馬県博では、ホリミネラロジーと協力し、今年度荒船や西ノ牧の鶏冠石の基礎調査を実施してはどうかと考えている。

- ・ジオパークとして調査と同時に保全の方針も考えていく必要がある。

→調査主体は群馬県で、地権者との交渉を事務局が、現地調査は学術部会に呼びかけて調査をすることになりました。

2) 自然史館の登録博物館化について

- ・町では自然史館・歴史館を登録博物館にするための準備を進めている。意見などがあれば事務局へ

3 次回の開催について

9月半ばを予定